

鼻水と中耳炎について

鼻水は、子どもによく見られる症状のひとつです。鼻水がみられる時には、こまめにかむ、取り除く、適切に治療することで、耳への影響を減らすことができます。

子どもがよく鼻水を出しています…
 いつものことから、経過をみてもいいのかな…

アレルギー性鼻炎

花粉やダニ、ほこり、ペットの毛、寒暖差などが原因で発症します。

予防策

- アレルギーの除去**
- ダニやほこり、ペットの毛などを減らす
 - 家の中を清潔にする

花粉対策

- 花粉が多い時間は、外出の頻度を減らす
- 状況に合わせて、マスクを着用する
- 帰宅時に玄関などで、衣服に付着した花粉を払う
- 布団類を外に干さない

定期的な換気

- 窓を2方向開けることで、空気を効果的に入れ替える

症状

- くしゃみ
- 透明な鼻水
- 鼻づまり
- 目のかゆみ など

診断と治療

- 診断**
- 問診・鼻内の視診
 - 採血（アレルギー検査）など
- 治療**
- 内服薬・点鼻薬
 - アレルギーを避けるためのアドバイス

年齢やアレルギー検査の結果により、舌下免疫療法（アレルギーを少しずつ体内に取り入れながら、徐々にアレルギー反応を弱めていく治療）を勧める場合があります。

感染性鼻炎

ウイルスや細菌の感染によって起きる、鼻の炎症です。子どもは免疫力が未熟であり、保育所などで集団生活をしている場合は、より発症しやすいです。

予防策

- 手洗い**
- 定期的な換気**
- 窓を2方向開けることで、空気を効果的に入れ替える

症状

- 黄色や緑色の鼻水
- 鼻づまり
- 発熱 など

診断と治療

- 診断**
- 問診・鼻内の視診
 - 細菌の検査（必要に応じて） など
- 治療**
- 鼻水の吸引や痛み止めなどの対症療法
 - 細菌による鼻炎の場合は、抗生剤を処方することがある

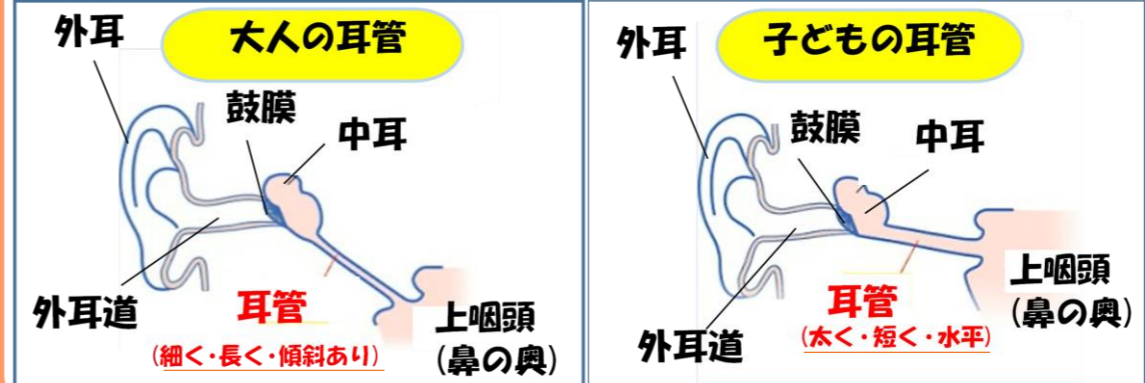
こまめな水分摂取とゆっくり体を休めることが大切です。

こんな症状がみられる時は
耳鼻科や小児科へ！

- 38度以上の高熱が続く
- 黄色や緑色の鼻水が続く
- 耳の痛みやのどの痛みが強い
- 鼻づまりや咳がひどく、呼吸がしにくい
- 頭痛がひどく機嫌が悪い
- 1週間以上鼻水が続く
- 呼びかけに反応しにくい

子どもは中耳炎になりやすい？

子どもが中耳炎になりやすい理由は2つあります！



- ①大人より耳管が太くて短い！
 鼻の奥の細菌やウイルスが、中耳に入りやすく、中耳炎になることがあります。
- ②大人より耳管が水平に近い構造！
 鼻水が中耳に流れ込みやすく、中耳炎になることがあります。

急性中耳炎

風邪や急性鼻炎などの感染症が原因で、中耳に細菌やウイルスが侵入して、炎症を引き起こします。

症状



診断と治療

- 診断**
- 問診
 - 耳の穴から鼓膜の様子を観察する
 - 耳だれの細菌検査をする など
- 治療**
- 状態に応じて経過観察
 - 抗生剤・痛み止めを処方することがある
 - 鼓膜切開術を行うことがある

幼児の場合、中耳炎に伴う痛みや不快感から、嘔吐や食欲不振がみられることがあります。

しんしゅつせい 滲出性中耳炎

急性中耳炎の後に発症することが多く、痛みや発熱はほとんどありませんが、治療をしないまま、長期間経過すると聴力に影響することがあります。

症状



診断と治療

- 診断**
- 鼓膜の状態や滲出液が溜まっているかを確認する
 - 数種類の聴力検査を行うことがある
 - 症状によっては、ファイバースコープやレントゲンの検査を行うことがある
- 治療**
- 内服治療
 - 耳管通気・鼓膜切開・鼓膜換気チューブ留置・アデノイド切除などの処置を行うことがある



耳鳴りは、耳の中の液体が移動することで、音が聞こえることや聞こえにくくなる場合があります。